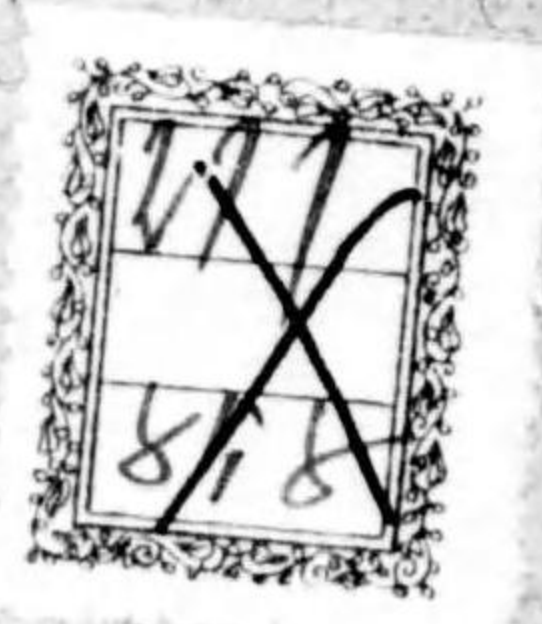


特105

94

大正六年一月

京都府師範學校一覽



始



特

京都府師範學校一覽目次

第一章	沿革畧	一
第二章	教授訓育ニ關スル施設	一
一	旅行	一
二	體育ノ獎勵	一
三	學科ノ實驗演習	一
四	各種ノ會合	九
五	寄宿舎ノ諸制度	六
六	父兄トノ連絡	一
第三章	學校衛生ニ關スル施設	一
第四章	職員ノ各種會合及研究	一
第五章	附屬小學校トノ連絡	二
第六章	卒業生トノ連絡	三
第七章	管内小學校トノ連絡	三
第八章	卒業生	五
第九章	生徒ニ關スル諸調査	七
第十章	經費	七

三一 二七 二七 二五 二三 二三 二一 一九 一八 一五 一二 九 六 一 一



持105
94

京都府師範學校一覽

第一章 沿革 畧

本校ハ明治九年五月上京區舊准后里御殿ヲ假校舍ニ充テ始業シ同六月二日開校式ヲ舉ゲタルヲ以テ創始トス。十年二月明治天皇本府中學ニ臨御本校生徒ノ學藝ヲ窺覽アラセラル。十二年校舍ヲ中學校構内、現在京都府廳裏手ニ新築シ十二月移轉ス。十五年二月新ニ附屬小學校ヲ設置ス。十九年四月女子師範學校ヲ加設ス。二十一年三月寺町通神荒口下ル中學校跡(現在府立第一高等女學校敷地)ニ移轉ス。三十年十一月府會ニ於テ勅令ノ趣旨ニ基キ大ニ本校ヲ擴張スベキ方針ヲ以テ議案ヲ附議セラレンコトヲ府知事ニ建議シタルヲ以テ擴張議案ヲ發セラレ遂ニ其ノ決議ニ由リ三十一、三十二年度ニ於テ本校及寄宿舎ノ新築及移轉改築ヲナシ三十三年度ニ於テ附屬小學校ヲ新築スルコト、ナレリ其ノ費額總計金拾參萬五千餘圓、三十四年四月竣功ニツキ文部大臣代理梅總務長官臨場本校竣成式並ニ卒業式ヲ舉行ス是ニ於テ設備大ニ整頓ス現在ノ校舍即是ナリ。四十一年四月女子部ヲ獨立シ愛宕郡大宮村ニ女子師範學校ヲ設置セラル。四十三年九月東宮殿下本校ニ行啓アラセラレ授業成績品等御巡覽御機嫌麗ハシク還啓遊バサル。

第二章 教授訓育ニ關スル施設

一、旅行

一、伊勢神宮參拜

生徒在學中一回伊勢地方ニ神宮參拜ノ爲メ旅行セシム、經費其ノ他ノ事情ニヨリ四ケ年ニ一回全校生

徒ニ同時ニ實施ス

二、皇陵參拜及伏見桃山御陵參拜

生徒在學中ニ京都附近ノ皇陵ヲ悉ク巡拜セシムルコト、シ京都附近皇陵一覽地圖ヲ製作シ之ニヨリテ平素指導シ居レリ又毎年十一月三日ヲ期シテ全校職員生徒伏見桃山御陵伏見桃山東御陵ニ參拜ス

三、東京旅行及奈良旅行

毎年四月下旬ヲ期シテ見學ノ爲メ三學年生ヲシテ東京地方ニ約一週間旅行セシム途次名古屋鎌倉横濱ニ立寄り歸路ハ徒歩ニテ箱根ヲ越ユルヲ常トス、又同時ニ二學年生ヲ奈良地方ニ三日間旅行セシム伊勢神宮參拜旅行及東京旅行ニ便ゼン爲メ伊勢東京旅行案内ヲ印刷シ生徒ノ見學ニ資シ居レリ

四、參觀旅行

第四學年及二部生ノ教育實習期間中約一週間管内小學校實地見學ノ爲メ旅行セシム指導ノ爲メ本校教諭一名附屬訓導一名之ヲ引率ス

五、見學旅行

郷土ニ於ケル地理歴史の事項其他社會文化ノ各方面ヲ知ラシムル目的ヲ以テ毎年別表ニヨリテ見學旅行ヲ實施シ居レリ其實施ノ方法ハ全校生徒ヲ同日ニ各方面ニ旅行セシムルコトアリ、又日ヲ異ニシ學年毎ニ其方面ノ指導ニ適當ナル教員之ヲ引率シテ實施スルコトアリ
其地理歴史の方面ノ指導ニ便ゼン爲メ「京都ノ古今」ト題スル小冊子ニ歴史の事項ヲ録シ生徒ニ持タシメ平素教室ニ於ケル教授ニ際シテモ臨機之ヲ使用シ居レリ其他社會ノ文化的の方面ニ關スル指導録ハ目下調製ノ計劃中ナリ

第一學年

第一學年	第一學期	第一回	加茂川	御苑寺	西陣	長岡	詩仙堂
	第二學期	第二回	白川	相國寺	建勳社	向日町	金福寺
	第一學期	第一回	比叡山	護王社	北野神社	長岡天	修福院
	第二學期	第二回	根中堂	京都府廳	平野神社	(長岡都)	八修學
	第一學期	第一回	東兩塔	堀川	二條城	栗生光明寺	大八瀨
	第二學期	第二回	日吉神社	堀川	(大極殿)	天光山	小野
	第一學期	第一回	坂本	東本願寺	(內裏)	櫻井	三來院
	第二學期	第二回	坂本	東本願寺	(聚樂)	(水無瀨宮)	寂來院
	第一學期	第一回	唐本	高瀬川	二條停車場	八幡宮	勝林院
	第二學期	第二回	(志賀都)	新橋	(朱雀大路)	宮	三宅院
	第一學期	第一回	三井寺	三條大橋	(朱秦廣隆寺)	宮	三宅院
	第二學期	第二回	弘文御陵	平安宮	太閤ノ築キシ長堤	宮	三宅院
	第一學期	第一回	物產陳列場	岡崎公園	(鴻臚館)	宮	三宅院
	第二學期	第二回	大津	梨木神社	(東城門)	宮	三宅院
	第一學期	第一回	(大津城址)	上御靈神社	(西八旅平家邸)	宮	三宅院
	第二學期	第二回	疏坂山	(室町幕府)	宮	宮	三宅院
	第一學期	第一回	イシクライン	(本能寺)	宮	宮	三宅院

第二學年

職員生徒ノ親密ヲ計ルヲ其目的ノ一ニ加ヘ毎年一回學年旅行(學年主任ト其學年生徒ト共ニナスモノ)世話係旅行(世話係ト其擔任生徒ト共ニナスモノ)ノ企テアリ

一、體育ノ獎勵

一、劍道及柔道

明治二十八年以來全校生徒ニ劍道柔道二者ノ中其一ヲ選ビテ修練セシメ居レリ劍道及柔道道具ハ生徒各自ニ之ヲ所持セシメ一週二回放課後一時間宛正科ニ準ジテ之ヲ課ス全校生徒約四百人中三分ノ二ハ劍道ヲ三分ノ一ハ柔道ヲ修メ居レリ毎年一月十一日ヨリ三週日間ハ寒稽古ト稱シテ全校生徒毎日約一時間稽古ヲナスヲ例トセルガ身心ノ發育ハ勿論其ノ技ニ於テモ進歩著シキモノアリ試ニ本校柔道部ニ於テ修練シ在學中有段者トナリシモノ、姓名ヲ舉グレバ左ノ如シ

卒業生有段者

- | | | | |
|--------|------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 三
段 | 岡村 豐作 | 山田 安次郎 | 茨木 |
| 二
段 | 清水 久次郎 | | |
| 初
段 | 柴田 安次郎
德田 九一
中山 三之雄
須藤 健吾 | 二階堂 光尙
田中 忠七
岩根 喜六
高元 吉郎 | 宇古 剛一
田中 慶治郎
川瀬 敬一郎
藤田 庄兵衛 |

飯田 時藏
吉良 佐太郎
吉井 好一
庭球、野球、蹴球、徒歩
柔道劍道ノ外生徒ハ庭球、野球、蹴球、徒歩等隨意ニ其一或ハ一以上ヲ選ビテ身體ヲ練磨シ居レリ今武道其他各部ノ豫算ヲ示セバ左ノ如シ

- | | |
|------------|------|
| 金拾圓 | 徒歩部 |
| 金七拾六圓四拾錢 | 蹴球部 |
| 金九拾六圓拾五錢 | 野球部 |
| 金百四拾九圓七拾五錢 | 庭球部 |
| 金百〇壹圓五錢 | 柔道部 |
| 金貳百貳圓六拾五錢 | 劍道部 |
| 金六拾圓 | 副科謝儀 |
| 金貳拾圓 | 雜費 |
| 金貳拾四圓 | 豫備費 |
- 職員生徒ノ釀出ニカ、ル豫算總額

三、強行遠足
強行遠足ハ辛苦艱難ニ耐ヘシメ心身ヲ鍛鍊スルヲ以テ目的トス往復凡ソ十五里ノ行程ヲ選ビテ一日ノ旅行ヲナサシム毎年一回四月之ヲ行フ遠足ノ方面ヲ定ムルコト四ツ左ノ如シ

一ハ八瀨大原ヲ經途中越ヲ越エテ堅田ニ出テ坂本大津ヲ過ギテ歸校スルモノ此行程凡十四里
二ハ愛宕山ニ上リ南桑田郡ニ下リ出雲社ニ詣テ保津龜岡ヲ過ギ老坂ヲ經テ歸校スルモノ此行程約十五里
三ハ雲ヶ畑ヨリ山國ニ出テ周山ヨリ鷹ヶ峯ヲ過ギテ歸校スルモノ此行程約十四里
四ハ比叡山ヲ越エ坂本大津ヲ過ギテ石山寺ニ至リ笠取村ヲ醍醐ニ出テ蹴上ダテ經テ歸校スルモノ此行程約十六里、四ツノ中最モ難シトスル所ナリ
右ノ四方面ヲ選ビシハ生徒在學中各方面ヲ踏破セシメムガ爲ナリ明治三十七年以來實施シ今日ニ至レリ

四、徒步練習

從來團體競走ト稱シテ每年春秋二季本校校庭ヨリ嵯峨釋迦堂ニ至ル二里十四町間ヲ各學年ヲシテ駈步競走セシメシガ年二回ノ競走ニテハ生徒ノ體育獎勵ノ爲メ不充分ナル点多キヲ認メ本年度ヨリ徒步練習ト改稱シ毎月一回放課後練習ヲナシ春一回秋一回特ニ競走ヲ實施スルコトニ變更セリ
競走經路ハ本校ヲ發シ鞍馬口通ヲ西ニ大宮通ヲ北ニ御園橋ニテ加茂川ヲ渡リ深泥池ヨリ南下シ下鴨村ヲ經出雲路橋ヨリ鞍馬口通リヲ西へ本校ニ歸ルモノトス此距離二里五町ナリ
各生徒ハ徒步練習ニ於テ毎回自己ノ疾走ニ要セシ時間ト自己ノ疲勞程度トヲ反省シ所要時間ハ毎回之ヲ別ニ作爲セル表ニ記入シ自己體育ノ發達増進ヲ省ルノ資トス
春秋ノ競走ニ於テハ個人的及團體的ニ競走ヲナサシム、個人競走ハ第二十位迄ニ到着セシモノヲ賞シ團體競走ハ學年ヲ單位トシ到着時間ニヨリテ得点ヲ異ニセル各生徒ノ得点ヲ學年別ニ合計シ競走人員ニテ其學年ノ總得点ヲ除シテ得タル結果ヲ其學年ノ成績トシ優秀ノ成績ヲ得タル學年ヲ賞ス

五、軍隊トノ連絡

体操科ニ於ケル教練体操ヲシテ軍隊ノ要求点ト一致セシメムガ爲メ大正三年度ヨリ每學期時ヲ定メテ歩兵第三十八聯隊ヨリ將校ノ派遣ヲ乞ヒ生徒ノ實地演習ノ觀察ト其講評指導トヲ受ケ居レリ、本年度ニ實施セシ大要ヲ略記センニ第一學期ニ於テハ聯隊長及將校ノ來校ヲ乞ヒ終日教練ニツキテノ實地指導ヲ乞ヒ尙全校生徒ニ聯隊長ノ講話ヲ聽カシメタリ、第二學期ニ於テハ大隊長及下士七名ノ來校ヲ乞ヒ下士ニハ軍隊内ニ於テ兵卒ヲ指導スルト同様ノ態度ヲ以テ教練ノ指導ヲ乞ヒタリ、引キ續キテ翌日ハ全校生徒伏見練兵場附近ニ於テ發火演習ヲ實施シ大隊長及尉官一名見習士官二名ノ指導ヲ乞ヒ終日演習ヲ實施シ演習後大隊長、聯隊長及師團長ノ講評講話ヲ聽聞セリ、

三、學科ノ實驗演習

一、博物理化學ノ實驗、及簡易器械ノ製作
博物及物理化學ハ每時各教材ニツキテ生徒ヲシテ自らノ實驗觀察解剖ニヨリテ確實ナル智識ヲ習得セシムルノ設備ヲナスコトニ努メ一年ニ教授上好成績ヲ見ツ、アリ
小學校ニ於ケル物理化學教授上必要ナル簡易裝置及器械ノ製作ニ練熟セシムルコトハ頗ル必要ナルヲ以テ毎年第四學年生ニ課スルニ小學校理科書ニ載セラレタル理化教材ヲ教ユルニ必要ナル簡易器械ノ製作ヲ以テシ其一部ハ之ヲ學校ニ止メ之ヲ學年別ニ分類陳列シテ後學ノ資トナシ一部ハ本人ニ還附シテ卒業後實地教授ニ利用セシメ居レリ
又理化學教授ノ應用トシテ生徒ニ特種研究問題ヲ與へ實際應用ノ方面ヲ研究調査セシメ或ハ各種工場等ニツキテ物品製作順序ノ方法等ヲ實地ニ研究セシメテ之ヲ報告セシメ其智識ノ徹底ヲ圖ルト共ニ理化學研究ノ趣味ヲ喚起スルコトニ努メ居レリ
二、手工理科ノ共同作業

第四學年生ニ課スル小學校理科教材實驗ノ簡易器械製作ハ理科擔任教員之ヲ課題シ生徒ハ理科及手工科擔任教員ヲ指導者ト仰ギテ其製作ニ從事シ居レリ又一而ニハ手工科擔任教員豫メ理科擔任教員ト協議シテ理科實驗器械ノ設計圖ヲ製作シ第四學年生ヲシテ此設計圖ニ基キテ實驗器械ヲ製作セシメ居レリ前者ハ創案ト實驗ノ可能トニヨリテ成績ヲ定メ後者ハ製作ノ技巧ト實驗ノ可能トニヨリテ成績ヲ定ム而シテ後者ノ製作品ハ現今ニ於テハ學校ニ留メ置キ生徒日常ノ教授用器械トシテ使用セシメ居レリ他日學校ニテ使用スル分ヲ製作シ終ラバ餘ハ之ヲ生徒ニ與ヘ卒業後使用セシム豫定ナリ

三、地理歴史科ノ演習

地理歴史科ノ演習ハ從來生徒ノ小學校奉職後自ラ適切ナル教具ヲ製作セシムル技能ト趣味トヲ得シムル目的ヲ以テ課シ來リシモ其設備完カラズ遺憾ノ點尠ナカラザリシヲ以テ前年度ヨリ地理歴史科教員室ニ演習室ヲ併設シ生徒ヲシテ教員指導ノ下ニ圖表其他教具製作ノ演習ニ從事セシム

四、郷土ノ研究

郷土ヲ研究シ郷土ニ關スル地理歴史博物上ノ智識ヲ與フル爲メニ博物科ニ於テハ其第一着手トシテ京都府下ニ於ケル萬般ノ植物ヲ採集シ之ヲ分類シ生徒ヲシテ夏季其他ニ於テ自ラ採集セシ所ヲ是等標本ニ照合シテ研究セシメ又一ニハ府下ニ於ケル植物分布其他ノ智識ヲ與フルコトヲ計劃セリ目下其收集ヲ終リ分類整理中ナリ

又地理科ト博物科ト協力シテ附近ノ地殻ヲ構成スル岩石ヲ集メテ之ヲ生徒ノ遠足方面ニヨリテ分類指示シ生徒一日ノ遠足ノ傍ラ地質ノ研究ニ便シ居レリ未ダ完成ニ至ラズト雖モ附近數里ノ間ハ大要指示シ得ル材料ヲ得テ之ヲ陳列シ生徒ヲシテ隨意ニ研究セシメ居レリ

郷土ノ地理歴史事項ヲ指導セシメン爲メ一二學年ニハ年數回見學旅行ヲ實施シ居レリ

五、臨海示教

毎年一二學年生ヲ海岸ニ十日間旅行セシメ水泳教育ノ傍ラ海産動植物及地理的事項ヲ實地ニツキテ指導シ居レリ從前ハ三重縣津方面ニ行キシモ後府下與謝郡由良ニ變更シ更ニ大正三年度ヨリハ若狹國高濱ニ變更セリ高濱ノ地水泳ニ便ナルナミナラズ又地理博物上ノ指導ニ至極適當ナリ

今年年度實施セシ大要ヲ記サンニ博物方面ニ於テハ第一學年生ニハ主トシテ海藻並ニ海岸植物ニツキ第二學年生ニハ海産動物ニツキ其形態生態並ニ利用狀況ヲ觀察實驗研究セシメソレゾレ教科書ニ結ビツケテ實地ノ學習ヲナサシメ兼テ標本採集製作ノ實習ヲナサシメタリ水泳ハ遠泳合格ヲ目標トシテ練習セシメタリシガ一二學年百五十名中三里半合格者二十六名(全部二年)五十町合格者六十二名(内一年生四十八名)ヲ出セリ又水泳ノ期間ニ操櫓練習ヲモ課セリ

六、習字圖畫手工展覽會

習字圖畫手工等生徒ノ技能ニヨル學科ノ進歩向上ヲ計ランガ爲メニ春秋各一回全生徒ノ成績展覽會ヲ開ク從來ハ習字圖畫ノ二科ニツキテ實施シ來リシモ大正四年度ヨリハ手工ヲモ之ニ加ヘ又時トシテハ生徒ノ製作ニナル博物標本ヲモ併セテ陳列展覽セリ

七、夏季休暇課題成績展覽會

四旬ニ餘ル夏季休暇ヲ心身ノ休養ト共ニ有効ニ過サシム爲メニ適切ナル課題ヲ與ヘ休暇後之ヲ學校ニ提出セシメ教員ニ於テ一應調査ノ上九月下旬ヲ期シテ展覽會ヲ開キ居レリ學科ハ修身教育國語等ヨリ理科圖畫手工習字等各般ニ亘ル就中修身教育ノ如キハ上級生ニ之ヲ課シ參考書ノ讀破ト其ノ大要ノ摘録ヲナサシメ博物ノ實物採集(動物ノ骨骼、岩石、植物等)理化學ノ地方迷信ノ研究、地理歴史科ノ郷土誌ノ研究、圖畫科ノ寫生等ハ其主要ナルモノナリ各學年共各學科ニ亘リテ多數出題セラル、モノ、中必題二、隨意題一以上ニ答ヘシメ居レリ

八、音樂會

音樂技能ノ修練ヲ助ケ音樂ノ趣味ヲ發揮セシメン爲メニ每年春秋各一回之ヲ開ク正科ニテ常ニ練習シ得タル所ヲ學級全體ニテ演奏スルコトアリ又ハ特ニ練習シ得タル所ヲ個々ニ演奏スルコトアリ或ハ來賓又ハ知名ノ音樂家ニ演奏ヲ依頼スルコトアリ、每會附屬小學兒童ノ一部之ニ參加ス

九、教務實習

生徒ヲシテ學校事務ノ一部ヲ練習セシメム爲メニ第三學年生二部生ヲシテ交互ニ當番ヲ定メテ教務實習ニ當ラシム或ハ圖表ヲ製作セシメ、或ハ教授用ノ器具ヲ修理整頓セシメ居レリ職員側ニモ教務實習生指導當番ヲ置ク

一〇、課外研究

生徒中特ニ或ル學科ニ趣味ヲ有シ其科ニツキテ深ク研鑽セントスルモノ、請ヲ容レ課外研究トシテ教員指導ノ下ニ研究シ居レリ多クハ第三學年以上ノ上級生ナリ從來實施セシハ國語漢文、英語數學理科農業等ナリ

二、樂器使用法實習

樂器使用法實習ノ爲メ樂器練習室及各教室ニ樂器ヲ配置シ第一學年ヨリ生徒ニ實習セシメ居レリ現今使用セル樂器數二十七個アリ毎年度一個又ハ二個ヲ加ヘ四十個ニ至リテ止ム豫定ナリ
毎日課外ニ於テ大凡四時間ノ練習時ヲ定メ各生交代ニ自習セシメ教員ハ每教授時ノ初メ約五分乃至十分ヲ割キテ其練習ノ結果ヲ檢シ指導シ居レリ

四、各種ノ會合

一、校友會

校友會ハ身體ヲ練磨シ精神ヲ修養シ會員相互ノ切磋協力ニヨリ高潔善美ナル校風ヲ發揚スルヲ以テ目

的トシ此目的ヲ達スル爲メニ講話部、圖書部、運動部ノ三部ヲ置ク

講話部ハ毎月一回開會シ會員相互ニ講話演說ヲナス外臨時ニ名士大家ヲ招キテ講演ヲ請ヒ居レリ最近ニ於テハ桑本嚴翼博士ノ近代思潮ニ對スル批評ノ十回講演、藤井健次郎博士ノ現代ノ倫理思想ニ關スル講演、堀切視學官ノ選舉ニ關スル講演、猶崎講師ノ酒ノ害ニ關スル實驗心理學の立場ヨリ歸結セル講演、津村博士ノ經濟ニ關スル講演、山下信義氏ノ地方自治ニ關スル講演、河合春光氏ノ體育ニ關スル講演等ハ其主ナルモノナリ又時々講師ヲ聘シテ全校生徒一席ノ歡ヲ得ル講演ヲ聞クコトアリ或ハ蓄音機ニヨリテ歐米名士ノ聲樂器樂ヲ味フコトアリ學校全般ニ關スル私的會合ノ臨時的ノモノハ多クハ此ノ講話部ノ催ニテナサル

圖書部ハ寄宿舎内ニ圖書室ヲ設ケ多數ノ圖書ヲ藏シ又毎年新刊書ヲ購入シテ會員ノ閱覽ニ備ヘ居レリ圖書室ハ晝夜開放セラレ四季ヲ通ジテ圖書室内人影ヲ見ザルハ午後十二時ヨリ五時頃迄少許ノ時間ナルベシ

運動部ハ學校ノ施設セル體育事業ヲ補佐シ平常之ガ獎勵ニ努ムルノ外適當ノ時機ニ競技會又ハ運動會ヲ開催シ之ガ發達ヲ圖リ居レリ

而シテ以上ノ事業ハ殆ド凡テ生徒中ヨリ選出セラレタル各役員ニ因テ運轉セラレ居レリ
今校友會ノ經費豫算ヲ示セバ左ノ如シ

金參百九拾貳圓

內 譯

大正五年度總收入豫算

金參拾九圓貳拾錢

金百貳拾五圓四拾四錢

金九拾圓拾六錢

講話部 費
圖書部 費
運動部 費

金參拾壹圓參拾六錢
 金五拾八圓八拾錢
 金參拾九圓貳拾錢
 金七圓八拾四錢

雜誌部補助
 新入會員歡迎及送別費
 雜費
 豫備費

二、義士會

義士ヲ追懷シ遺範ヲ求ムル爲メ此會ヲ我校ニ開クコト茲ニ年アリ其始メハ每年十二月十四日ノ夜義士吉良邸打入ノ時刻ニ之ヲ行ヒ主トシテ義士ニ關スル講話ト義士傳朗讀トヲナセシモ時恰モ第二學期末ニ際シ學事多端ナルヲ以テ當日ハ義士ノ遺髮塔ト四十七士ノ墓ノ所在ナル瑞光院ニ參拜シ兼ネテ院ニ藏スル義士ノ遺物ヲ觀覽スルニ止メ二月四日義士切腹ノ日ヲ紀念トシ茲ニ義士ニ關スル講話ヲ聞クコト、シ四年ニ一回(生徒在學中一回ニ當ル)大講演會ヲ開キ義士ヲ追懷スル事トセリ

三、圖書展覽會

生徒中特ニ圖書ニ趣味ヲ有スルモノ相計リテ每學期一回展覽會ヲ開ク多年波光會ノ名稱ノ下ニ生徒自ラ此會ヲ主催シ圖書擔任教員ノ鑑查ノ下ニ開キ來リシガ近時改稱シテ兎兒會ト稱シ從來ヨリモ一層熾ンニ研究ヲ續ケ居レリ

四、臨池會

生徒中書道ニ趣味ヲ有スルモノ相計リテ臨池會ト稱スル書會ヲ催シ居レリ凡每學期一回之ヲ開ク會員ハ其平素揮毫スル所ノモノヲ陳列相互ニ批評スルノミナラズ席上揮毫ニ大ナル趣味ト氣焰ヲ擧ゲ居レリ

五、學年會

學年主任ト生徒トノ親睦ヲ圖リ其學年ノ智德ノ修養ニ資センガ爲メニ學年會ヲ開ク席上茶菓ヲ置キ打

六、郡會

解ケタル會合ナリ每學期凡一回之ヲ開ク時ニハ學年遠足ヲ以テ之ニ更フルコトアリ
 各郡別ニ從ヒ本校教員一名世話係トナリ其地方出身生徒ノ身上ニツキ父兄ニ代リテ世話シ居レルヲ以テ是等生徒ト世話係トノ親睦ノ爲メ各學期凡一回郡會ヲ開クコレ又打解ケタル會合ニシテ校內ニ開カル、事アリ又寺院其他ノ席ヲ借リテ開カル、コトアリ時ニハ遠足ヲ以テ之ニ更フルコトアリ

五、寄宿舎ノ諸制度

一、役員制度

寄宿舎生活ニ於ケル各般ノ事務ヲ進捗セシメン爲メ生徒中ヨリ役員ヲ互選セシメ學校長之ヲ任命ス役員ハ舍監指導ノ下ニ舍風ノ改善ト庶務ノ處理トニ關シ其事務ヲ分掌スルモノトス
 役員及役員ノ分掌事務左ノ如シ

一、週番室長及副週番室長

週番室長ハ舍內全般ノ風紀衛生給與及警備ニ關スル事務ヲ掌ル副週番室長ハ週番室長ヲ補佐シ其事務ヲ分擔ス

二、當番室長

各寮ニ一名ノ當番室長アリ一週間毎ニ交代シ其寮ニ於ケル室内ノ風紀衛生及警備等ニ關スル事務ヲ掌ル

三、室長

室内ノ風紀衛生給與及警備等ニ關スル事務ヲ掌ル

四、炊事係長

炊事係長ハ食堂、浴室、洗面場、炊事場ノ取締炊事及沐浴ニ關スル事務ヲ掌ル

五、衛生係長
衛生係長ハ病室、診斷室ヲ取締リ一般ノ衛生及療養ニ關スル事務ヲ掌ル

六、圖書係長
圖書係長ハ圖書閱覽室ヲ取締リ圖書ノ購入保管及閱覽ニ關スル事務ヲ掌ル

七、休養係長
休養係長ハ休養室（遊馬亭）ヲ取締リ休養娛樂ニ關スル事務ヲ掌ル

八、統計係長
統計係長ハ日々生徒ノ事故ヲ調査シ各種ノ統計表調製ニ關スル事務ヲ掌ル

九、副係長及係員
各係長ノ下ニ副係長及係員ヲ置キ副係長ハ各其係長ヲ補佐シテ事務ヲ分擔シ係員ハ其係長ニ屬シテ各其事務ヲ助ク

十、當直
舍監及週番室長ノ所用ヲ辨ジ兼ネテ舍内ノ事情ニ通ゼシメンガ爲メニ第一學年ヨリ四名ノ當直ヲ出シ一週毎ニ交代其務ニ當ラシム

二、購買部

購買部擔任舍監指導ノ下ニ購買係長首腦トナリテ寄宿舎ニ購買部ヲ設ケ日用雜貨及學用品ヲ賣捌キ居レリ

三、自炊制度

毎日放課後ヨリ夕食時マデ第三學年生交代ニ其任ニ當ル定メナリ

炊事部擔任舍監指導ノ下ニ炊事係長首腦トナリテ炊夫七名ヲ使役シ自炊制度ヲトリ居レリ
第三學年ヨリ出ヅル係員ハ每週献立表ヲ作製シ炊事係長ノ檢閲ヲ經テ之ヲ決定シ米穀ノ購入魚肉蔬菜ノ購入、日々ノ米ノ出納等一切ノ事務皆生徒之ニ當リ居レリ

四、衛生

衛生事務ヲ分擔スル舍監指導ノ下ニ衛生係長係員舍内各般ノ衛生事務ヲ處理ス、日常ノ衛生ヨリ隔週實施セラル、舍内外大掃除ニ於ケル衛生事項、生徒ノ發病負傷等ノ手當、傳染病患者發生ノ場合ニ於ケル消毒事務、毎年學校ニテ實施セラル、全般生徒ノ身體檢查ニ關スル事務、卒業生ノ身體檢查ニ關スル事務ニ至ルマデ一切ヲ分掌ス

五、洗濯

洗濯婦三名ヲ雇備シ西洋洗濯ニヨラザレバ不可能ナル物品ヲ除キ寄宿舎全生徒ノ洗濯物ノ世話ヲナサシメ居レリ其綻ビタルハ繕ヒ其破レタルハ之ヲ綴リ又洗濯婦ノ一人ハ生徒中稍重病ニシテ病室ニ入室セルモノアル場合ニハ其看護ニ當ル定メナリ

六、役員會議及生徒ノ制裁

各室長各係長等相會シテ舍風ノ改善庶務ノ處理又ハ偶發事項ニツキテ會議シ舍監ノ許可ヲ得テ實施シ居レリ
舍生中舍ノ善良ナル風習ヲ破ルモノ又ハ自ラ修マラザルモノニ對シテハ室長ニ於テ先ツ忠告改悛セシメ尙其改マラザルモノニ對シテハ役員會議ニ於テ其處置ヲ決定シ重キモノハ舍監ニ申出デ、其指揮ヲ受ケ輕キモノハ役員ニテ戒メ居レリ
或ハ各學年ニ於テ自ラ修マラザルモノ若クハ級風ヲ害シ級ノ不名譽ヲ來スモノヲ發見スル場合ニハ時宜ニ從ヒテ忠告シ其改マラザルモノハ舍監ニ申出ヅル定メナリ

六、父兄トノ連絡

一、學資保管

生徒入學ノ當初父兄ト相諮リ本校生徒ノ學資ヲ舍監ニテ保管シ居レリ父兄ヨリスル學資ノ送金ハ振替貯金ニテ拂込マシメ生徒各自ノ所有スル學資金保管簿ニ其拂込アル毎ニ記帳シテ與ヘ置キ生徒ハ毎週水曜日午前中ニ其所用ノ金額ヲ保管簿拂出ノ欄ニ記入シテ舍監ニ提出シ舍監ハ其日ノ午後本校會計書記一名ト共ニ全生徒ノ學資金ヲ拂戻スモノトス、當初ハ其拂戻ニ約二時間ヲ要セシモ漸次熟練シテ約一時間以内ニテ全生徒ノ拂戻ヲ了スルニ至レリ

二、生徒世話係

生徒出身ノ地方別ニ從ヒ全校教員之ヲ分擔シテ生徒ノ私的生活ノ相談相手トナリ居レリ之ヲ世話係ト云フ一世話係ノ擔任スル生徒數ハ凡ソ二十名内外ナリ

生徒ハ其世話係ノ私宅ヲ時々訪問スル定メニテ殊ニ學期ノ終始ニハ世話係ノ私宅ニツキテ歸郷及歸校ノ挨拶ヲナサシム

世話係ト生徒トハ時ニハ郊外ニ遠足ヲ試ミ時ニハ一室ニ會シテ談笑シ和氣霽然ノ裏ニ生徒ノ修養ヲ助ケンコトヲ期待シ居レリ

三、家庭訪問

世話係ハ學校ノ休暇ヲ利用シテ生徒ノ家庭ヲ訪問シ親シク父兄ト談ヲ交ヘ生徒教養上ニ資シ居レリ此世話係制度ハ大正三年度ニ始メテ施設セシ所ニシテ毎年新シク入學スル生徒アルヲ以テ家庭訪問モ未ダ全生徒ニ亘ラスト雖モ毎年夏、春休暇期ニ出張訪問スルヲ以テ父兄トノ連絡大ニ親密ヲ加フルニ至レリ

四、父兄ノ召喚

前項家庭訪問ニヨリ又文書ニテノ通信ニヨリ家庭ト學校トノ連絡ハ稍密接ニ取り得ルモ尙生徒教養上必要ナル場合ニハ父兄ニ出校ヲ求メ居レリ或ハ舍監トシテ出校ヲ促スコトアリ或ハ世話係トシテ出校ヲ促スコトアリ或ハ學校トシテ出校ヲ促スコトアリ以テ父兄學校共同シテ生徒ノ教養ニ努ム

五、成績通知

家庭ノ父兄ヲシテ生徒ノ學業成績ヲ知悉セシム爲メ毎學期其生徒ノ學業成績ヲ世話係ヨリ其家庭ニ通知シ父兄ハ其通知ヲ熟覽ノ後ハ之ニ捺印シテ學校ニ返附セシメ居レリ尙其學科ニツキテ特ニ成績ノ不良ナルモノ或ハ素行上特ニ注意ヲ促ス必要アルモノニ對シテハ世話係ヨリ學業成績通知ノ際其旨父兄ニ通信シ居レリ

第三章 學校衛生ニ關スル施設

一、學校衛生主事、囑托醫

大正五年度ヨリ府ニ衛生主事ヲ置キ各學校醫ヲ廢止ス學校衛生主事ハ毎年定期ノ生徒身體検査ヲナス外時々學校ニ來リテ生徒ノ衛生ニ關スル事務ヲ視察シ囑托醫ハ每週三回（月、水、金）出校シ生徒ノ病氣ヲ診察シ其重要ナルモノハ衛生主事ト協議シテ學校衛生ニ資シ居レリ

二、生徒衛生係

生徒中互選ニヨリテ衛生係長同副係長各一名各寮ニ衛生係各一名ヲ置キ生徒ノ衛生ニ關スル各般ノ事項ヲ處理セシム

衛生係長、同副係長ノ許ニハ各衛生箱ヲ置キ脱脂綿、綳帶木綿、沃度丁幾、萬創膏、コロ、ダイソ、吸入器等應急藥劑ヲ備ヘ事故アル毎ニ適宜ノ處置ヲ取り居レリ

重病者發生ノ場合之ヲ病室ニ移シテ治療セシムルガ如キ或ハ傳染病患者發生ノ場合室内ノ消毒事務ニ當ルカ如キハ皆衛生係長及衛生係ノ主ナル任務ニシテ一般生徒ハ係長及係ノ指圖ニ從ヒテ是等ノ任務ニ服ス

舍監ノ内一名衛生事務ニ當リ是等係員ノ相談相手トナリ又其指揮者トナリ居レリ

三、校舍校庭ノ掃除整理

校舍校庭ノ掃除ニツキテハ之ヲ本校ト寄宿舎トニ分チ本校ニ於テハ校舍係校庭係ノ各主任教諭アリテ全般ノ事務ヲ統ベ各學年主任之ヲ助ゲ生徒ト協同シテ掃除整理ノ任ニ當リ居レリ

日々掃除整理
各教室共生徒中ヨリ當番ヲ定メ日々其洒掃ニ當リ居レリ
月次大掃除整理

毎月一回校舍校庭全部ニ亘リテ大掃除整理ヲ爲ス此ノ場合校舍ノ床ハ清潔ニ之ヲ拭ヒ蜘蛛ノ巢ヲ拂ヒ硝子窓ヲ拭ヒ各室備品ニ拭布ヲカケ床面ニ墨汁等ノ痕跡ノアルモノハ藥品ニテ之ヲ清潔ナラシム
校庭ハ之ヲ各學級ニ分擔セシメ毎月一回除草整理セシム秋季落葉ノ節ニハ臨時整理ノ度ヲ多カラシム
年次大掃除

每年四月及九月ノ二回月次大掃除ヲ一層丁寧細密ニ實施セシム

寄宿舎ニ於テハ毎朝室内及廊下ヲ洒掃セシメ又隔週水曜日ニ舍内外大掃除ヲ實施セシム

四、近視眼者ノ取扱

近視眼豫防ノ目的ヲ以テ常ニ自習室ニ於ケル採光、電燈ノ光力ニ注意スルトトモニ教室内ニ於テモ近視眼者ノ席ハ室内前方教壇ニ近キ所ニ設ケ黑板上ノ文字ヲ見ルニ過勞ヲ來スコトナカラシメ毎年一回眼科専門醫ニ托シテ生徒ノ眼疾ノ有無及其程度ヲ調査シ近視遠視ノモノハ之ヲ帳簿ニ録シテ其使用眼

鏡ノ程度モ之ヲ記載シ生徒ニ對シテハ學校長ヨリ眼鏡使用許可ノ證票ヲ授ケカクテ年々其ノ經過狀況ヲ調査シ居レリ

五、卒業前ノ身體検査

毎年二月其年度卒業スベキ生徒ノ身體検査ヲ特ニ施行シ疾患者ハ之ヲ治療セシメ呼吸器其他ノ疾患ニシテ卒業スルモ直チニ病褥ニ親シム懸念アル生徒ニハ特ニ治療保養セシメ其健康ニ復スルニ及ビテ卒業ヲ認定スル方針ヲ取り居レリ此レ近時卒業後間モナク病氣ノ爲メニ斃レ又ハ病氣療養ノ爲メ休職等トナリ赴任町村ノ教育事務ニ支障ヲ來スコト往々之アリシヲ以テ之ヲ防止センガ爲メナリ

第四章 職員ノ各種會合及研究

一、職員會

校務ノ處理其他臨時ノ事項ヲ解決スル爲メ毎月凡二回職員會ヲ開ク常ノ會ハ本校教員ノミニ因テ組織セラル、モ事柄ニヨリテハ全職員ヲ集ムルコトアリ

二、土曜會

教務舍務附屬小學校ノ事務打合せノ爲メ毎週土曜日打合會ヲ開ク學校長、教務主任舍務主任附屬小學主事之ニ列席ス

三、舍監會議

舍務打合せノ爲メ毎水曜日ニ舍監會議ヲ第一舍内ニ開キ居レリ問題ニヨリテハ第二舍舍監之ニ列席ス

四、教授法研究會

本校ニ於ケル教授法ノ改善進歩ニ資セン爲メ教授法研究會ヲ開ク學校長、教務主任其科擔任教員、關係學科擔任教員之ニ列席ス

五、管理訓練研究會

本校ノ管理訓練方面ノ事項ヲ研究セン爲メニ開カル、會ナリ教務主任手許ニアル管理訓練ニ關スル各種問題蒐集簿ニ各職員ハ問題ヲ記入提出シ學校長時々之ヲ檢シ其最モ急ヲ要スルモノヨリ委員ヲ設ケテ調査研究セシメ其答申ヲ待チテ之ヲ問題トシテ研究會ヲ開クモノトス

六、教務打合會

教務ハ教務主任ノ外數名ノ教員之ヲ分擔シ時間割係、校舍校庭係、出納係、統計係、教務實習生指導係等ニ分レ居ルヲ以テ打合ノ爲メ毎月一回本會ヲ開ク

七、讀書會

職員相互ニ釀金シテ讀書會ヲ組織シ學校ニテ購入セザル新刊圖書ヲ購入シテ相互ノ閱覽ニ便ジ居レリ會ヲ名付ケテ卯須會ト云フ

八、清遊會

職員相互ノ親睦ヲ計リ時ニ一日ノ清遊ヲナスヲ以テ目的トス凡一ケ年五回之ヲ開クヲ例トス職員ハ毎月若干金ヲ釀出シテ本會ノ資ニ充ツ

九、府學務課ト男女師範學校トノ打合會

府下初等教育ノ改善進歩ト男女兩師範及府學務當局トノ意見ノ疏通ヲ計ル爲メ打合會ヲ每學期一回開催シ居レリ出席者ハ學務當局者及兩師範學校長、教務主任附屬主事ナリ會場ハ廻持チトシ會場ニ當リシモノ會ヲ司リ豫メ問題ヲ集メテ打合ノ資トス

十、級長會

教務其他ニ關シ指導上必要ニ應ジテ級長會ヲ開ク或ハ一、二學年級長會ナルコトアリ三、四學年及二部ノ級長會ナルコトアリ或ハ全校ノ級長會ナルコトアリ事柄ニ應ジ時宜ニ從ツテ之ヲ定ム

第五章 附屬小學校トノ連絡

一、小學校各科教授法ノ編纂

本校教諭ノ講スル各科教授法ト附屬小學校ニ於テ訓導ノ指導スル所トハ動モスレバ間隔ヲ生ジ教育實習ニ從フ生徒ヲシテ其適從スル所ニ迷ハシメ又相互ニ自然ニ其指導力ヲ鈍ラシムルコトアルヲ以テ本校教諭ト附屬訓導ト共ニ研究熟議ノ結果各科教授法ヲ編纂シ之ニ因テ本校ニ於ケル該科擔任教諭其ノ教授法ヲ講ジ附屬訓導亦其精神ニヨリテ實際教授ノ指導ヲナスコト、セリ

二、本校教諭ノ附屬參觀

本校教務係ニ於テ毎週土曜日迄ニ翌週ニ於ケル附屬參觀割ヲ調製シ本校教諭ハ毎週一時間以上小學校ニ於ケル訓導及教員ノ實地教授ヲ參觀シ或ハ意見ヲ交換シ或ハ指導ヲ與ヘ居レリ其附屬小學ノ施設一般ニ關スル事ニツキテノ意見疑義ハ附屬主事ノ列席セル本校教員會議ニテ各自ノ意見ヲ發表シ居レリ

三、研究發表

附屬小學校ニ於ケル某科目ノ研究發表ニツキテハ該科擔任教諭ハ附屬小學ト協力シテ其研究ニ任ジ或ハ地方小學校ヲ參觀視察シ或ハ近府縣ノ小學教育ヲ視察シ研究ノ資トナシ居レリ

四、參觀旅行ノ指導

毎年六回教育實習生ヲシテ小學校參觀ノ爲メ旅行セシム此ノ際本校教諭附屬訓導各一名之ヲ引率シ共ニ力ヲ協セテ小學校ノ實際方面ニツキ指導シ居レリ

第六章 卒業生トノ連絡

- 一、各種出張ノ場合ニ於ケル連絡
卒業生就中學校卒業後二三年ヲ出デザル卒業生ト母校トハ常ニ連絡ヲ保チ其卒業後社會生活ニ於ケル疑義ニ對シテ相談相手トナリ又適當ナル指導者トナル事必要ナリ是等ノ目的ヲ以テ別項記載セル卒業生招集ハ企テラレタルモノナルガ其他本校教員ノ地方學事視察、家庭訪問旅行、教生ノ參觀旅行等ノ場合ニ於テ地方ニ出張スル教員ハ務メテ最近兩三年ニ於ケル卒業生ト會合シ前記ノ目的ヲ達スルコトニツトメ居レリ
- 二、卒業生招集
卒業年度ノ翌年度夏季休業中ヲ利用シテ卒業生ヲ本校ニ招集シ居レリ
卒業後一ケ年餘ニ於ケル小學校ノ實務ノ經驗、其經驗ヨリ來ル研究ト疑義ノ發表或ハ社會生活ニ於ケル感想疑義或ハ生徒トシテ在學中斯ル方面ノ指導ト教授等ヲ受ケタカリシ等母校ニ對スル希望等ヲ披瀝シ胸襟ヲ開キ互ニ意見ヲ交換シ居レリ大正二年夏季ヲ初回トシ爾後毎夏實施シ來レリ
- 三、校友會誌配布
本校在學生ノ組織セル校友會ニ卒業生モ亦會友トシテ加ハリ毎年一回會誌ヲ發行シ居レリ之ニ因テ卒業生ハ本校現時ノ狀況ヲ知り又卒業生相互ニ近況ヲ誌上ニ報導シ研究ヲ發表シ彼我ノ交情ヲ温メ居レリ
- 四、同窓會
卒業生相諮リテ同窓會ヲ組織シ毎年一回會誌ヲ發行シ又毎年一回母校ニ於テ大會ヲ開キ居レリ大會ノ際ニハ本校職員一同之ニ出席シ或ハ談話ヲ共ニシ或ハ食事ヲ共ニシ一日ノ清遊ヲナスヲ例トス
- 五、創立紀念日案内
毎年六月二日舉行セラル、本校創立紀念式ニハ卒業生ニ案内シテ參校ヲ促シ居レリ卒業生側ニ於テハ

此紀念式ヲ盛大ニ舉行シ又其參列スル卒業生ヲ響應スル資ニ充ツル爲メノ目的ヲ以テ十數年前ヨリ記念金ト稱シテ一定ノ金額ヲ記念金基金ノ中ニ寄附スルヲ常トス目下此基金ノ額二千圓近クニ達シ居レリ

第七章 管内小學校トノ連絡

- 一、研究發表
小學校ノ教材、教授法或ハ其科ノ施設等ニツキテ附屬小學校訓導ト本校教諭ト互ニ研鑽ヲ積ミ其ノ研究ノ纏ル毎ニ府下小學校關係者ニ案内シテ來會ヲ乞ヒ研究ヲ發表シ居レリ
- 二、團體參觀
京都市又ハ郡部ヨリ時々團體ノ參觀アリ或ハ一郡ノ小學校長ヲ擧ゲテ小學校ノ全般ニツキテノ視察ト意見トヲ求ムルアリ或ハ特種ノ學科ニツキテノ參觀アリ或ル學年ノ擔任訓導ノ其擔任スル學年ヲ研究スルヲ以テスルアリ附屬小學校トシテハ多忙ノ傾向ナキニアラザルモ府下小學校教育ヲ益スルモノ多キヲ認ム
- 三、出張指導
土曜日或ハ日曜日ヲ利用シテ府下市郡ニ本校教諭附屬小學主事附屬小學校訓導等ヲ出張セシメ或ハ講演ヲナシ或ハ實地ニ教授シ或ハ教授ノ批評ヲ爲シ居レリ
殊ニ奥三郡ト稱セラル、府下中、竹野、熊野三郡地方ノ如キハ僻遠ノ地トテ附屬小學ニテ時々實施スル研究發表ニモ出席ヲ見ルコト少ナク又團體參觀モ時ト費用トヲ要スル點ヨリ實施スルコト困難ナルヲ以テ當方ヨリ教諭、主事、訓導ヲ出張セシメ豫メ方案ヲ設ケテ奥三郡六七ヶ所ニ全教員ヲ集メ各種方面ニ亘リテ意見ヲ發表シ居レリ其結果有効ナルヲ以テ將來モ繼續實施スルノ豫定ナリ

四、小學校教員研究發表會

小學校教員ヲシテ常ニ發働的位置ニ立テ小學校教育ノ各方面ニ向ツテ研究セシメ其研究ヲ相互ニ發表シテ斯道ノ爲メニ研鑽セシムル目的ヲ以テ小學校教員研究發表會ヲ開催ス其方法ハ毎年二月召集セラレ、郡市視學會ニ其次年度ニ實施スル計劃ノ大要ヲ發表シ地方ニ於ケル研究ヲ促シ翌年度期ヲ定メテ實施シ居レリ大正四年五月第一回ヲ開キ爾來引續キ實施シ居レリ

五、教員講習

本校ニ於テハ從來卒業生講習ト稱シテ一科目又ハ二科目ヲ選ビテ一週日ノ短期講習ヲ實施シ卒業生中ノ其講習科目ニ特ニ趣味ヲ有スルモノ又ハ研究ノ必要ヲ感ズルモノヲ集メテ年五回實施シ來リシガ其結果良好ニシテ卒業生ト母校トノ連絡モ亦密接トナルヲ見タリ然レド其後卒業後五ヶ年以上ヲ經メルモノ、講習ヲ行フコト、ナリ、右ハ中止スルニ至レリ

大正四年度ヨリハ本校ニ豫算ヲ置カレ年五回(内一回ハ小學校長、二回ハ小學校本科正教員、二回ハ尋常小學校本科正教員)講習ヲ實施スルコト、ナレリ

大正五年度ニ於テハ小學校長一回小學校本科正教員一回尋常小學校本科正教員一回ノ講習ヲ實施シ殘リ二回ノ中一回ハ農業技術員ニシテ現ニ農業補習學校教員タルモノマタハ將來農業補習學校ノ教員タラントスルモノヲ集メテ之ニ教育學及農業教授法ノ講習ヲナシ一回ハ小學校教員ニシテ現ニ其學校ノ体操科ノ主任タルモノ又ハ將來体操科ノ主任タラントスルモノニ体操、生理、教育ノ講習ヲナシタリ前者ハ農業補習學校ニ適當ナル教員ヲ得セシメン爲メノ計劃ニシテ後者ハ府下小學校ノ体操科ノ實績ヲ尙一層増進セシメン爲メノ計劃ナリ幸ニシテ兩者共好成績ヲ收メ得タリ來年度ニ於ケル講習ノ中ニモ尙此種ノ講習ヲ加ヘテ其徹底ヲ計ラン豫定ナリ

六、教員ノ地方小學校教育ノ視察

本年度ヨリハ本校教員ヲシテ地方小學校ノ視察ヲ一層多クセシメ又其視察參觀ノ際ニハ各小學校ニ於テ參觀ノ目的ヲ充分ニ達シ得ル様時間割ヲ變更シ其他便宜ヲ得ルコトニ郡市視學會ニテ申合ヲナシ之ヲ實施セリ實施後日尙淺ク其効果ヲ充分認ムル能ハザルモ教育刷新上ノ一手段タルベキヲ疑ハズ

第八章 卒業生

學校創立以來卒業生並ニ修了人員

(大正五年十二月)

本	科	豫備科		講習		科	幼稚園保婦講習科
		第一	第二	第一	第二		
第一	男	一、四七一	一五八	第一	種	一、七九一	九七
第一	女	四五八	一五八	第一	種	六三三	九七
第二	男	二二一	一五八	第二	種	六二〇	九七
第二	女	一、六九二	一五八	第二	種	一八三	九七
計	男	一、六九二	一五八	計		二、四一一	九七
計	女	四五八	一五八	計		二四六	九七

第九章 生徒ニ關スル諸調査

一、學級編制及生徒數

(大正五年十二月一日現在)

學	年	定	員	現	在	
第一	部	第一	學	年	八〇	七六

明治四十五年度	大正二年度	大正三年度	大正四年度	大正五年度
一部	一部	一部	一部	一部
二二・八一〇	二四・九八三	二七・六五七	二七・六五七	二七・六五七
四一・四二七	二七・六五七	二七・六五七	二七・六五七	二七・六五七
八〇	八二	七九	七八	七六
一	二	三	四	五
一	二	三	四	五
九	八	七	六	五
四	三	二	一	〇
一	二	三	四	五
二	三	四	五	六
三	四	五	六	七
四	五	六	七	八
五	六	七	八	九

五、生徒身体狀況

(括弧内ハ全國學生生徒及兒童身長體重胸圍表(十五ヶ年平均)ナリ)

(大正五年四月調)

年	身長	體重	胸圍(常時)	胸圍盈虚ノ差	身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商
十	五・三三	二二・四二六	二・五二	〇・二六	二・四二
十	五・〇四	二一・八五〇	二・四六	〇・二四	二・三五
十	五・三三	二二・四二六	二・五二	〇・二六	二・四二
十	五・一八	二一・八三〇	二・五五	〇・二四	二・四八
十	五・二八	二二・八三〇	二・五五	〇・二四	二・四八
十	五・二八	二二・八三〇	二・五五	〇・二四	二・四八
十	五・二八	二二・八三〇	二・五五	〇・二四	二・四八
十	五・二八	二二・八三〇	二・五五	〇・二四	二・四八
十	五・二八	二二・八三〇	二・五五	〇・二四	二・四八
十	五・二八	二二・八三〇	二・五五	〇・二四	二・四八

第十章 經常費豫算累年比較

種目	大正三年度	大正四年度	大正五年度
師範學校費	五八、三六五・九二〇	五四、〇一六・一九〇	四九、四六五・二二〇
雜給	二〇、二五六・〇〇〇	一九、六六六・〇〇〇	一八、九九六・〇〇〇
生徒諸費	三、四三四・六〇〇	三、四三三・四四〇	三、〇五七・二〇〇
校修繕費	二七、〇四九・〇六〇	二三、一三三・四七〇	一九、七六八・三六〇
附屬小學校費	四、六〇七・六〇〇	四、六三五・六〇〇	四、六〇九・六〇〇
總計	一、七七一・〇〇〇	一、〇五六・〇〇〇	一、〇五六・〇〇〇
總計	一、七七一・〇〇〇	一、〇五六・〇〇〇	一、〇五六・〇〇〇

國庫納金

114.50

110.50

108.50

三十一

大正六年一月十日印刷
大正六年一月十五日發行

京都府師範學校

京都市上京區新樺木町通二條上ル
角倉町十番戶

印刷者 曾我部了二

京都市上京區新樺木町通二條上ル
角倉町十番戶

印刷所 曾我部印刷所



終

